

1 以下の設問(1)～(8)については、答えだけを解答欄に書きなさい。

(1) つぎの連立不等式を解きなさい。

$$\begin{cases} x^2 - x - 12 \leq 0 \\ -6x - 1 < 0 \end{cases}$$

(2) a を実数とする. x の2次方程式 $x^2 - (a+3)x + a^2 + a + 1 = 0$ が2つの異なる実数解をもつような定数 a の値の範囲を求めなさい。

(3) A, B, C, D, E, F の6人が、くじ引きで順番を決めて1列に並ぶとき、列の1番目にAが、3番目にCが、5番目にEが並ぶ確率を求めなさい。

(4) 三角形ABCは $\angle A = 60^\circ$, $AB = 4$, $AC = 7$ を満たしている. このとき、三角形ABCの外接円の半径の値を求めなさい。

- (5) 全体集合 U とその 2 つの部分集合 A, B について、要素の個数の情報が

$$n(U) = 80, n(A) = 43, n(B) = 28, n(A \cap B) = 16$$

で与えられているとき、 $n(\overline{A \cap B})$ の値を求めなさい。ただし、 \overline{A} は A の補集合を、 \overline{B} は B の補集合を表す。

- (6) 円 $C: x^2 + y^2 = 20$ と直線 $y = 2x - 8$ の交点を A, B とする。ただし、 y 座標が大きいほうの交点を A とする。円 C 上に動点 P をとるとき、3 点 A, B, P により作られる三角形の面積の最大値を求めなさい。

- (7) つぎの極限值を計算して、 n の単項式で表しなさい。

$$\lim_{x \rightarrow \pi} \frac{\sin x + \sin 3x + \sin 5x + \cdots + \sin(2n-1)x}{x - \pi}$$

- (8) 点 $(-1, 2)$ を点 $(-5, 8)$ に、点 $(3, -2)$ を点 $(11, -4)$ に移す 1 次変換(点の移動ともいう)を表す行列を A とするとき、 $A^3 = xA - (3x - 5)E$ を満たす実数 x の値を求めなさい。ただし、 E は 2 次の単位行列である。

2 座標平面上で、関数 $y = 2 \log x$ のグラフを (G) で表す. ただし, \log は自然対数を表す. (G) 上の点 $(2, 2 \log 2)$ における接線を l とするとき, 以下の問いに答えなさい. ただし, (1), (2) については答えだけを解答欄に書きなさい.

(1) l の方程式を求めなさい.

(2) l と y 軸との交点の y 座標を α とするとき, 直線 $y = \alpha$ とグラフ (G) との交点の x 座標の値を求めなさい.

(3) グラフ (G) と接線 l および (2) の直線 $y = \alpha$ で囲まれる図形の面積を求めなさい.

3 三角形 ABC は $|\overrightarrow{AB}| = 6$, $|\overrightarrow{AC}| = 3$, $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = 2$ を満たしている. 三角形 ABC の重心を G とし, 線分 AB の中点を D とする. 以下の問いに答えなさい. ただし, (1), (2) については答えだけを解答欄に書きなさい.

(1) 線分 DG の長さを求めなさい.

(2) $\angle ADG$ の二等分線と線分 AG との交点を E とするとき, 線分 AE の長さを求めなさい.

(3) 三角形 ADG の内心を I とするとき, \overrightarrow{AI} を \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AC} を用いて表しなさい.

4 座標平面上の原点 O を中心とする半径 1 の円を C_1 とする. 第 1 象限内の点で C_1 に内接する円のうち, x 軸にも y 軸にも接するものを D_1 とする. つぎに, 原点 O を中心とし, 円 D_1 と外接する円を C_2 とし, さらに, 第 1 象限内の点で C_2 に内接する円のうち, x 軸にも y 軸にも接するものを D_2 とする(図を参照).

以下同様に, $n = 1, 2, 3, \dots$ に対して, 原点 O を中心とし, 円 D_n と外接する円を C_{n+1} とし, さらに, 第 1 象限内の点で C_{n+1} に内接する円のうち, x 軸にも y 軸にも接するものを D_{n+1} とする. 円 C_n の半径を r_n とするとき, 以下の問いに答えなさい.

(1) r_n を求めて, n の式で表しなさい.

(2) 円 D_n の面積を S_n で表すとき, 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} S_n$ の値を求めなさい.

